

2 平成15年度講義配信による研修に関する アンケート調査結果

5 平成15年度講義配信を利用した研修に関するアンケート調査結果

講義配信視聴後、各センターの受講者と講座担当者にそれぞれアンケート調査を実施した。以下にその結果を示す。

(1) 受講者について

①受講者の状況

各センターの学校種別ごとの受講者数を表1に示す。学校種別の項目中の「その他」には、管理職、指導主事、養護教諭が含まれる。

表1 各センターの学校種別受講者数 (人)

開催場所	件数	幼稚園	小学校			中学校			高等学校	盲学校	聾学校	養護学校	その他	無答
			通常学級	特殊学級	通級指導教室	通常学級	特殊学級	通級指導教室						
北海道	128		28	41	3	3	15					28	10	
宮城	14		1	3	1		1					8		
滋賀	134	19	25	23	2	13	5	1	7		1	18	18	2
大阪	97		7	20	2	4	3		5		2	9	38	7
広島	64	1	13	27	1	2	8	1			1		9	1
宮崎	96		74	4	2			1	1		1		13	
合計	533	20	148	118	11	22	32	3	13		5	63	88	10

図1は、全受講者数533名の各学校種別の占める割合を表したものである。これによると、全体の約半数が小学校勤務者であり、その内訳は、通常学級担当者27%、特殊学級担当者22%、通級指導教室担当者2%であった。中学校勤務者は全体の11%であり、高等学校、幼稚園勤務者を含めると、特殊教育諸学校外からの参加者が約7割を占めた。

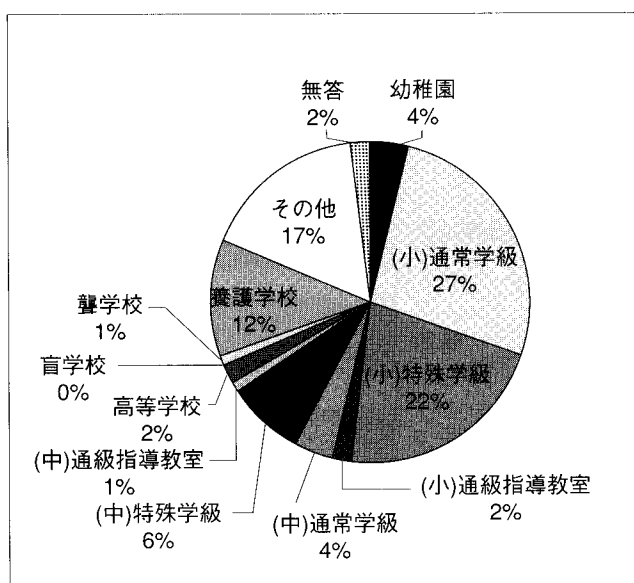


図1 全受講者の学校種別ごとの割合

②講義内容の期待程度

配信した講義内容について、期待していたものであったかどうかをたずねた結果を図2に示す。これによると、「期待以上だった」と「概ね期待していた通りだった」を含めると70%の受講者が、概ね、当初講義題目等から期待していた内容通りだったと答えている。

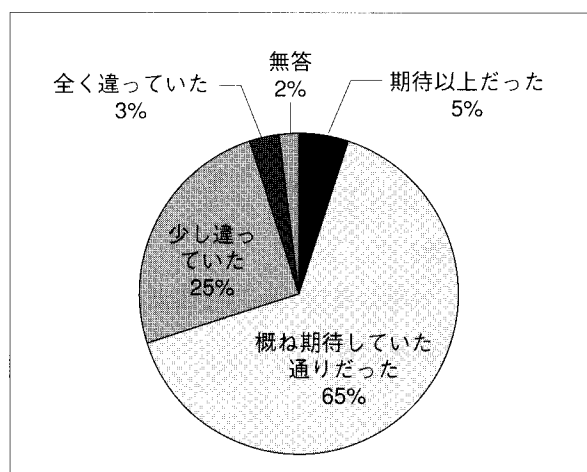


図2 講義内容の期待程度

③インターネットによる講義方法の予想程度

次に、インターネットによる講義方法について、予想していたものと同じであったかどうかについてたずねた。その結果を図3に示す。これについても、②の「講義内容の期待程度」と同様に、「予想以上だった」と「概ね予想していた通りだった」を合わせると、約70%の受講者が、概ねイメージしていた通りであったと答えている。

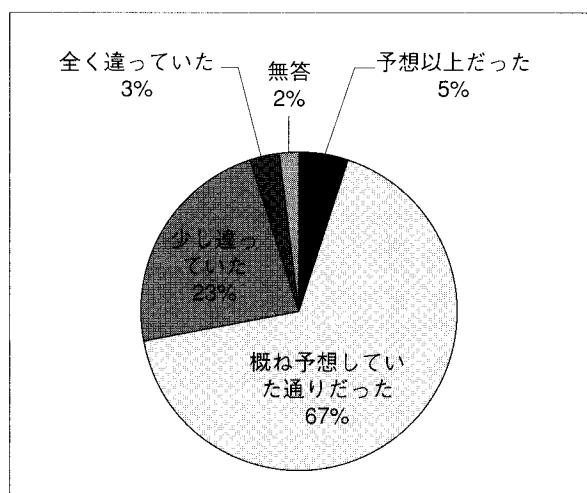


図3 講義方法の予想程度

④画面・音声・講義時間

具体的な視聴の様子について、「画面の見やすさ」「音声の聴きやすさ」「講義時間の適切さ」の3点に絞ってたずねた。その結果を図4に示す。

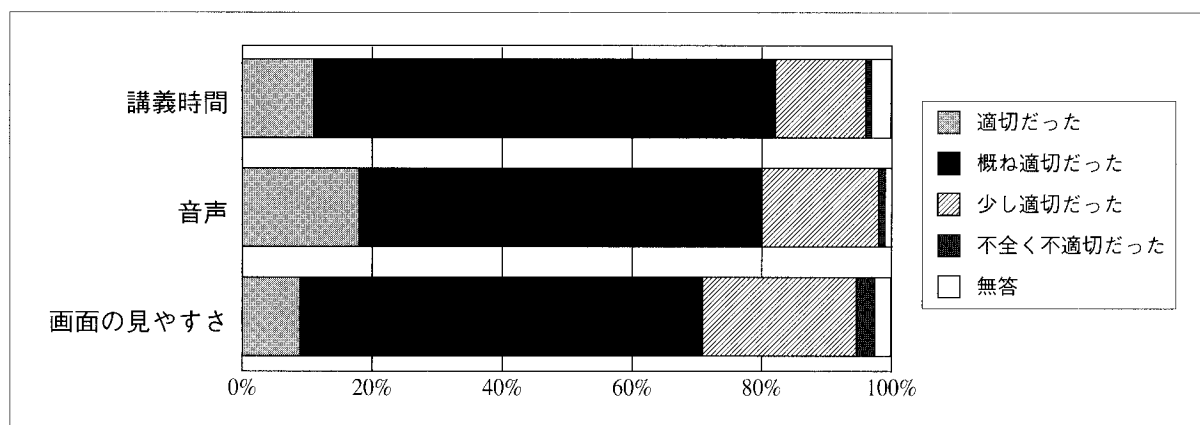


図4 画面の見やすさ・音声の聴きやすさ・講義時間の適切さについて

これによると、「画面の見やすさ」「音声の聴きやすさ」「講義時間の適切さ」いずれにおいても、約80%の受講者が「適切であった」「概ね適切だった」と答えている。

(2) 講座担当者について

①講義内容の期待程度

図5は、配信した講義内容について、期待していたものであったかどうかを講座担当者にたずねた結果である。これによると、「期待以上だった」と「全く違っていった」という両極の回答はなく、「概ね期待していた通りだった」が67%、「少し違っていった」が33%であった。

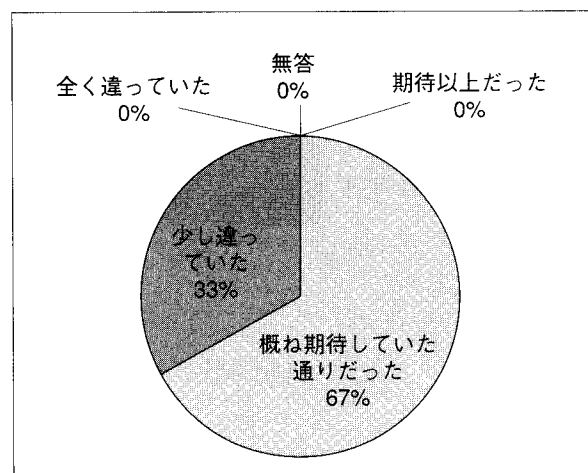


図5 講義内容の期待程度

②インターネットによる講義方法の予想程度

図6は、インターネットによる講義方法について、予想していたものと同じであったかどうかについてたずねた結果である。これについても、①の「講義内容の期待程度」と同様に、「予想以上だった」と「全く違っていった」という両極の回答はなく、「概ね予想していた通りだった」が67%、「少し違っていった」が33%であった。

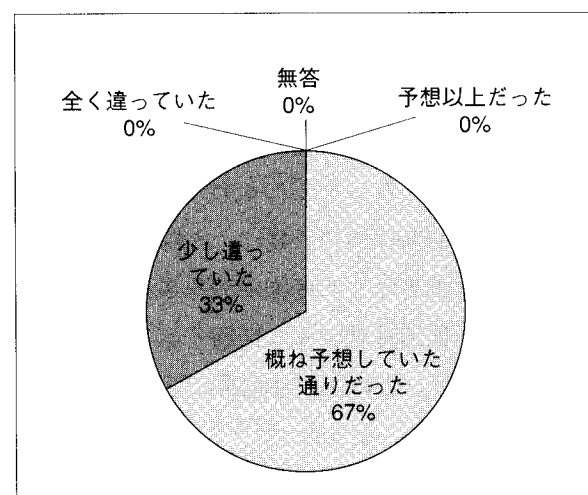


図6 講義方法の予想程度

③画面・音声・講義時間

図7は、具体的な視聴の様子について、「画面の見やすさ」「音声の聴きやすさ」「講義時間の適切さ」の3点に絞ってたずねた結果である。これによると、「画面の見やすさ」「音声の聴きやすさ」については、いずれも、「適切であった」「全く不適切であった」という両極の回答はなく、「概ね適切だった」50%、「少し不適切であった」50%と、半々に分かれた。「講義時間の適切さ」については、講座担当者全員が「概ね適切だった」と答えている。

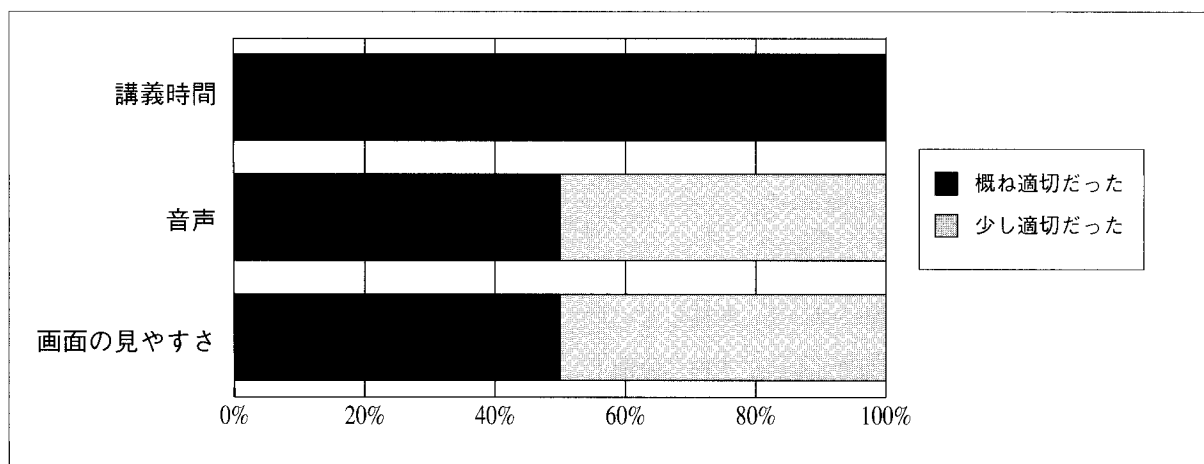


図7 画面の見やすさ・音声の聴きやすさ・講義時間の適切さについて

④インターネットによる講義配信の利用意向

図8は、各センターの研修事業で、インターネットによる講義配信を次年度以降も利用したいと考えているかどうかについてたずねた結果である。これによると、「利用したい」が33%、「検討する」が50%、「利用しない」が17%であった。この「利用しない」の17%については、この講義配信を実施した時期にはすでに、次年度の研修事業計画が立てられており、講義配信による研修を組み込めないという事情があり、このような回答になった。

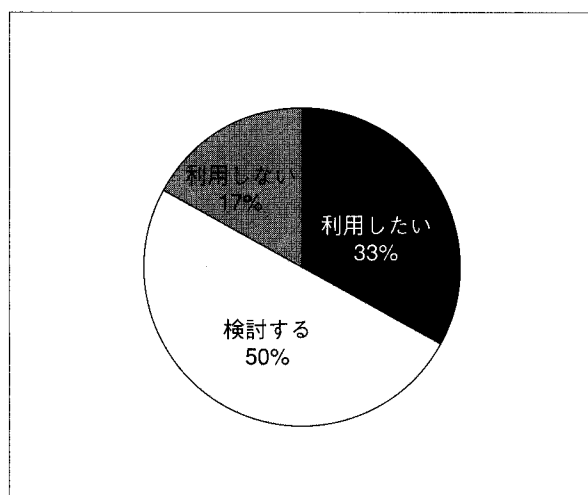


図8 講義配信の利用意向